

平成 28 年度市民意識調査結果報告書の概要

並びに

調査に関わる 総合計画 基本計画 2013 及び

まち・ひと・しごと創生総合戦略における指標の進捗

平成 29 年 2 月

岐阜市

【目次】

1 調査概要	1
2 岐阜市の将来像の設問（一般市民）の概要	3
3 政策の満足度、優先度の設問（一般市民）の概要	5
4 地域のまちづくりの設問（一般市民）の概要	9
5 主要な設問の概要	11
6 意識や行動の設問（一般市民）の概要	17
7 岐阜市のイメージの設問（一般市民）の概要	18
8 平成 26・27 年度調査結果との比較（一般市民）	19
9 調査に関わる岐阜市総合計画 基本計画 2013 の政策における指標の状況	21
10 調査に関わる岐阜市まち・ひと・しごと創生総合戦略における KPI の状況	22

1 調査概要

(1) 調査目的と本報告書の内容

「岐阜市総合計画(ぎふ躍動プラン・21)基本計画 2013」(計画期間:2013(平成 25)年度～2017(平成 29)年度。以下「基本計画」という。)では、心の豊かさの追求を掲げ、市民の心の豊かさを表す指標等を示し、これらを定量的かつ定期的に測定し、その結果に基づき、より現実的な政策展開を図っていくとしている。

そこで、計画に掲げた指標の改善状況を把握するとともに、市民の意識や行動等を多面的に把握するための調査を「市民意識調査」として、平成 25 年度より実施している。

また、次期計画の策定に当たり、市民及び市外に転出した者からの基本計画の評価や岐阜市の将来のまちづくりに対する意識等を把握する必要が出てきている。

これらを踏まえ、「平成 28 年度市民意識調査」を実施した。

本報告書は、調査の結果をとりまとめた、「平成 28 年度市民意識調査結果報告書」の主要な項目や特徴のある項目を抜粋するとともに、調査に関わる「基本計画」及び「岐阜市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた指標の状況を掲載するものである。

(2) 対象別調査方法

- ① 満 15 歳以上(中学生、外国人市民を除く。)の岐阜市での住民基本台帳登録者(以下「一般市民」という。)の中から、5,100 人を単純無作為抽出した上で、調査票を郵送し、記入後、返送してもらう方法で実施
- ② 満 15 歳以上(中学生を除く。)で、外国籍の岐阜市での住民基本台帳登録者(以下「外国人市民」という。)の中から、500 人を単純無作為抽出した上で、調査票を郵送し、記入後、返送してもらう方法で実施
※中国語、韓国・朝鮮語、タガログ語を母国語とする国籍の方には、母国語に翻訳した調査票を、それ以外の国籍の方には英語に翻訳した調査票を同封
- ③ 過去に岐阜市の住民基本台帳に登録があり、平成 27 年度中に岐阜市から転出した満 16 歳以上の転出者(以下「転出者」という。)の中から、400 人を単純無作為抽出した上で、調査票を郵送し、記入後、返送してもらう方法で実施
- ④ 岐阜市内の中学校から 4 校(岐阜清流中学校、三輪中学校、長森南中学校、岐阜東中学校)を抽出し、その 4 校の中から 130 人の岐阜市在住の生徒(以下「中学生」という。)を抽出し、調査票を配付し、後日回収する方法で実施

(3) 対象別調査期間

- ① 一般市民 :平成 28 年 11 月 22 日(火)～12 月 5 日(月) ≪2 週間≫
 - ② 外国人市民 :平成 28 年 11 月 22 日(火)～12 月 5 日(月) ≪2 週間≫
 - ③ 転出者 :平成 28 年 11 月 22 日(火)～12 月 5 日(月) ≪2 週間≫
 - ④ 中学生 :平成 28 年 10 月 26 日(水)～11 月 9 日(水) ≪2 週間≫
- ※①～③については、12 月 8 日(木)に礼状兼督促状を発送。

(4) 回収状況

調査対象	発送数	回収数	無効数 (白紙回答)	有効回収数	有効回収率
一般市民	5,100	2,179	11	2,168	42.5%
参考) H23	5,300	—	—	2,025	38.2%

※平成 27 年度: 発送数 3,000、有効回収数 1,665、有効回収率 55.5%

平成 26 年度: 発送数 3,000、有効回収数 1,649、有効回収率 55.0%

調査対象	発送数	回収数	無効数 (白紙回答)	有効回収数	有効回収率
外国人市民	500	92	1	91	18.2%
参考) H23	400	—	—	88	22.0%

調査対象	発送数	回収数	無効数 (白紙回答)	有効回収数	有効回収率
転出者	400	136	0	136	34.0%
参考) H23	300	—	—	89	29.7%

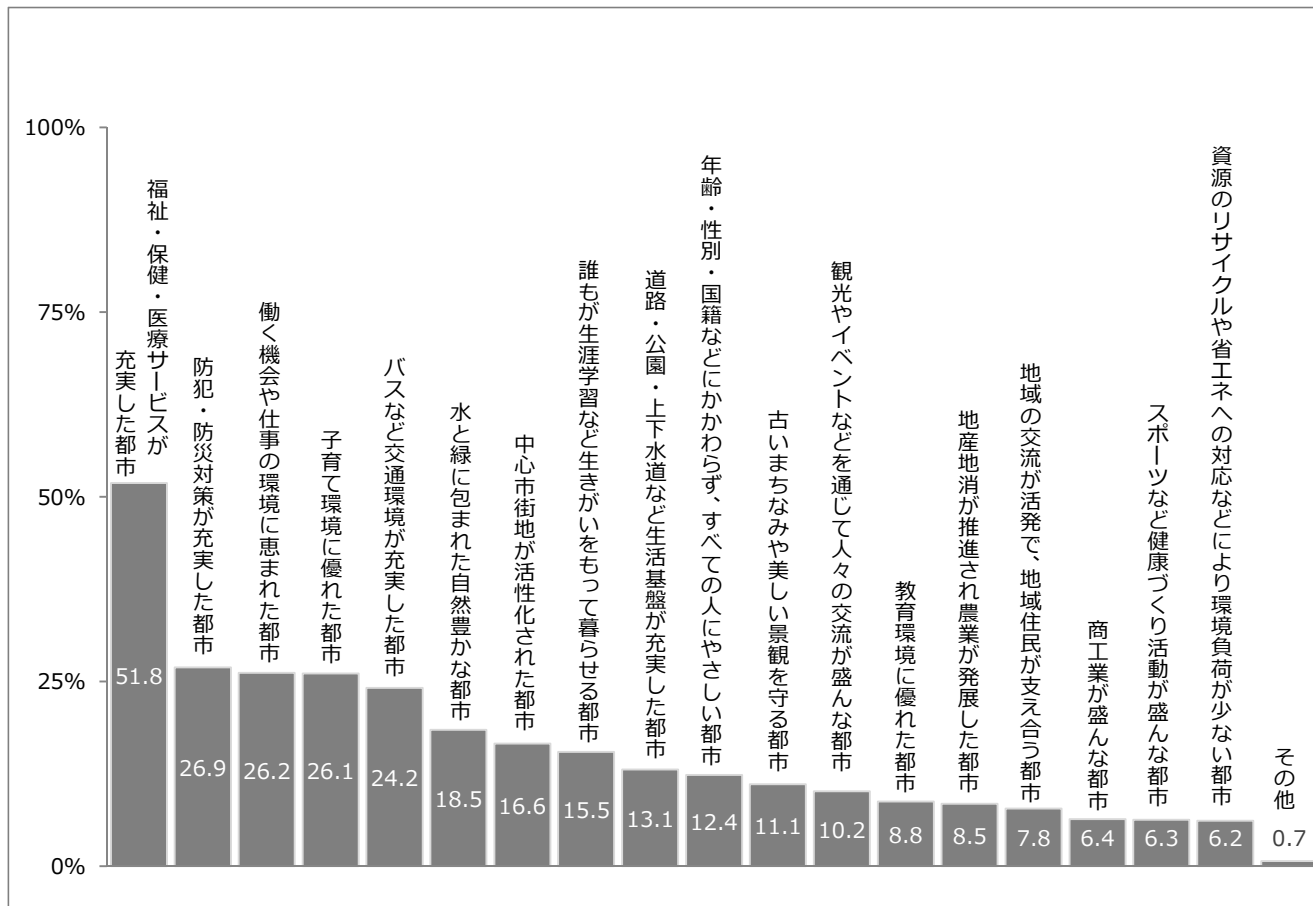
調査対象	配付数	回収数	無効数 (白紙回答)	有効回収数	有効回収率
中学生	130	130	0	130	100%
参考) H23	221	—	—	221	100%

本報告書概要の留意事項

- ・ 各設問の n は有効回答数を表している。なお、各選択肢の比率は n を 100% として算出している。
- ・ 各選択肢の比率はすべて百分率で表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出しているため、すべての選択肢の比率の合計が 100% とならない場合がある。
- ・ 不適切な回答 (単数回答のところに複数回答しているなど) については、原則として無回答として処理しているが、回答者の意思が読み取れるものは、できる限り反映させて処理している。
- ・ 調査票の表現については、趣旨が変わらない程度に見やすく簡略化して示している場合がある。

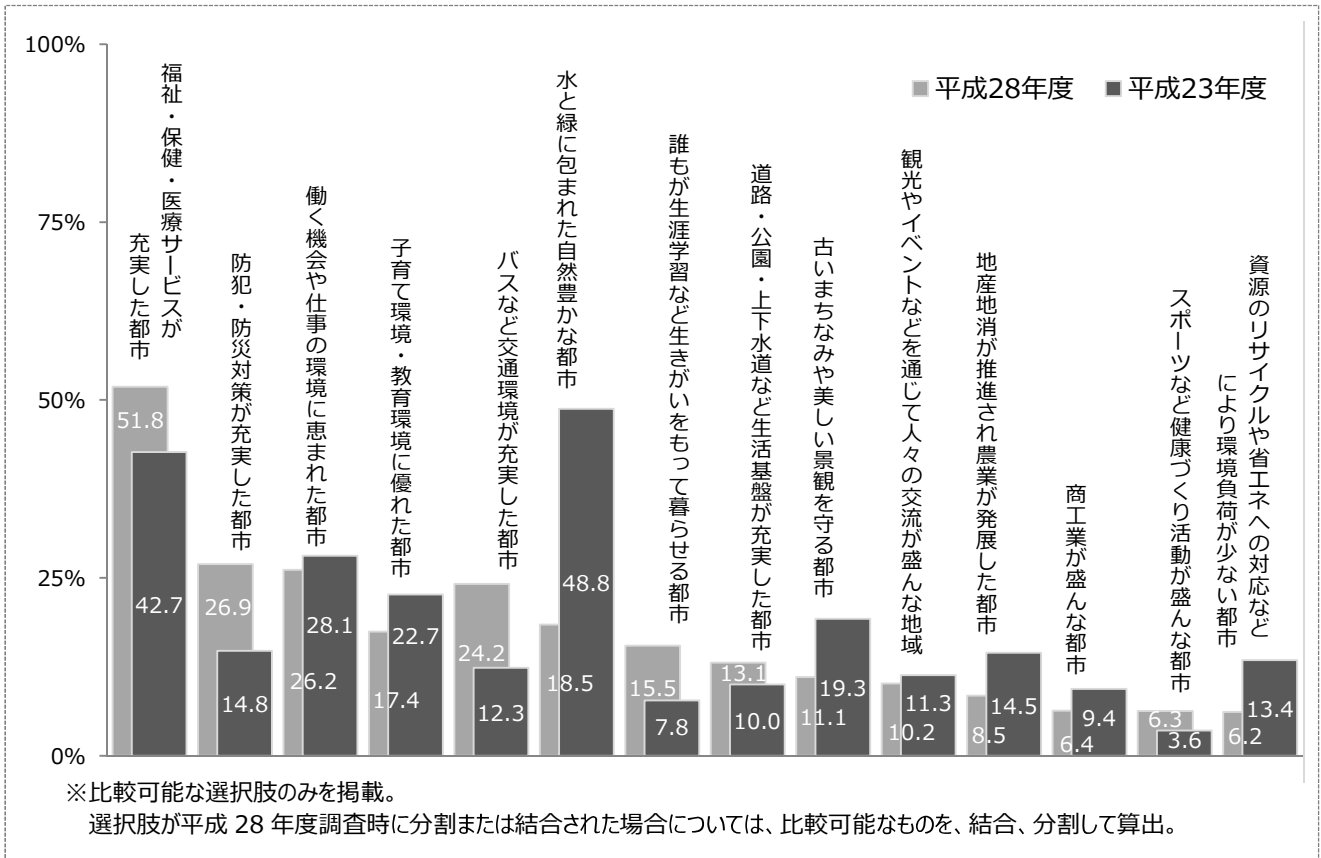
2 岐阜市の将来像の設問（一般市民）の概要

設問 72 おおよそ 10 年後、岐阜市がどのような都市になってほしいと思いますか。
 (考えに近いものを3つ選択) n=1,950



おおよそ 10 年後の岐阜市の将来像について選択された割合が最も高かったものは、「福祉・保健・医療サービスが充実した都市」(51.8%)となり、次いで、「防犯・防災対策が充実した都市」(26.9%)、「働く機会や仕事の環境に恵まれた都市」(26.2%)、「子育て環境に優れた都市」(26.1%)、「バスなど交通環境が充実した都市」(24.2%)が続いた。

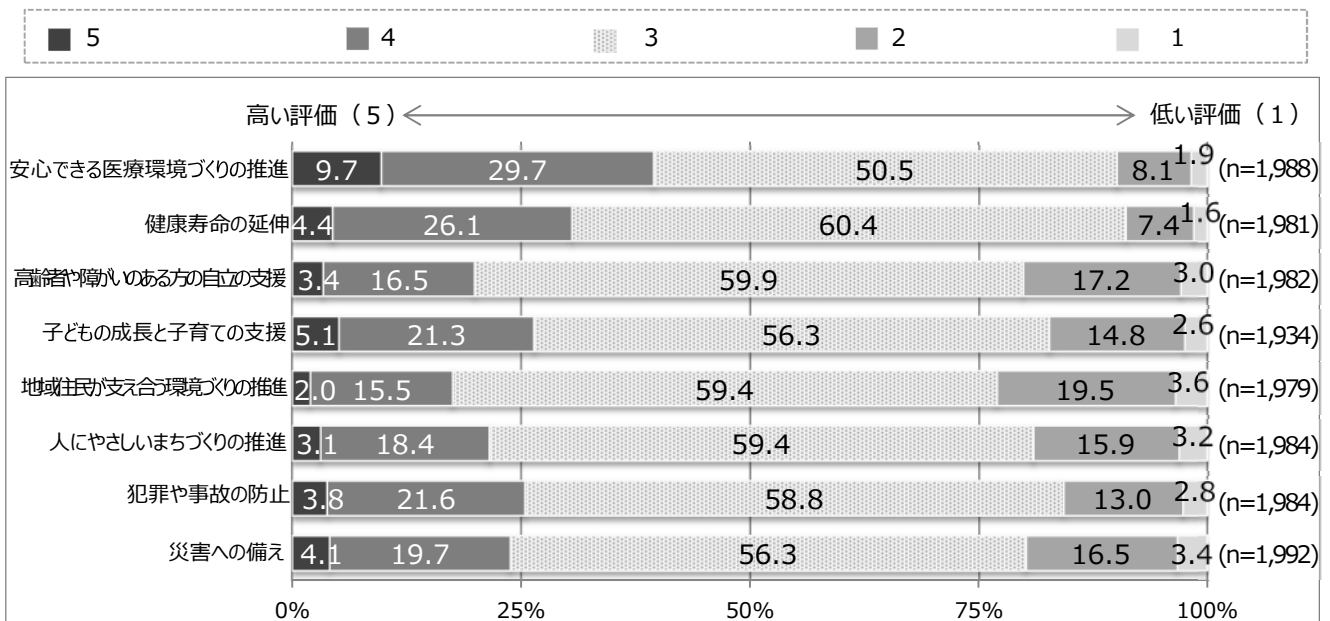
平成 23 年度調査結果との比較（一般市民）



平成 23 年度調査と比較してみると、最も選択した割合が増加した将来像は、「防災・防災対策が充実した都市」(12.1 ポイント増(「H23」(14.8%)→「H28」(26.9%))となり、次いで、「バスなど交通環境が充実した都市」(11.9 ポイント増(「H23」(12.3%)→「H28」(24.2%))が続いた。また、最も選択した割合が減少した将来像は、「水と緑に包まれた自然豊かな都市」(30.3 ポイント減(「H23」(48.8%)→「H28」(18.5%))となり、次いで、「古いまちなみや美しい景観を守る都市」(8.2 ポイント減(「H23」(19.3%)→「H28」(11.1%))が続いた。

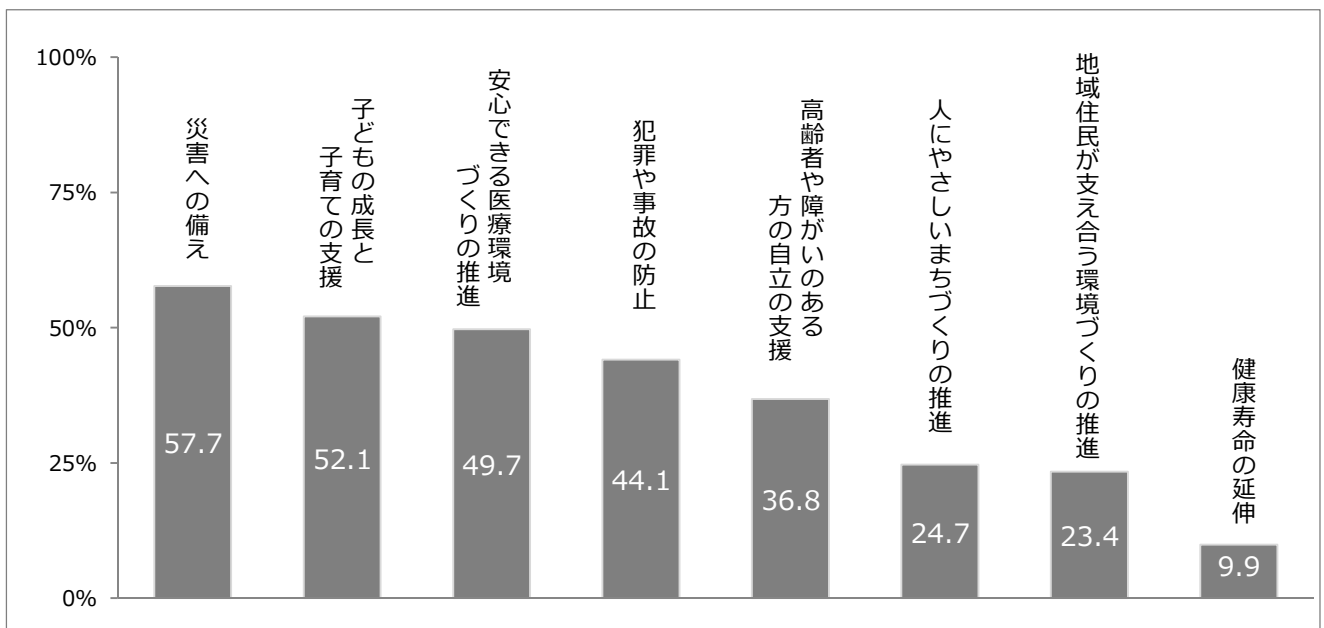
3 政策の満足度、優先度の設問（一般市民）の概要

設問 64 「安心して暮らせる都市」づくりを進めるために位置付けられた以下の政策（8項目）の評価（満足度）をしてください。



政策の評価（満足度）として、比較的高い評価である「5」、「4」を回答した割合の合計が最も高かった政策は、「安心できる医療環境づくりの推進」（39.4%）となった。一方で、比較的低い評価である「1」、「2」を回答した割合の合計が最も高かった政策は「地域住民が支え合う環境づくりの推進」（23.1%）となった。

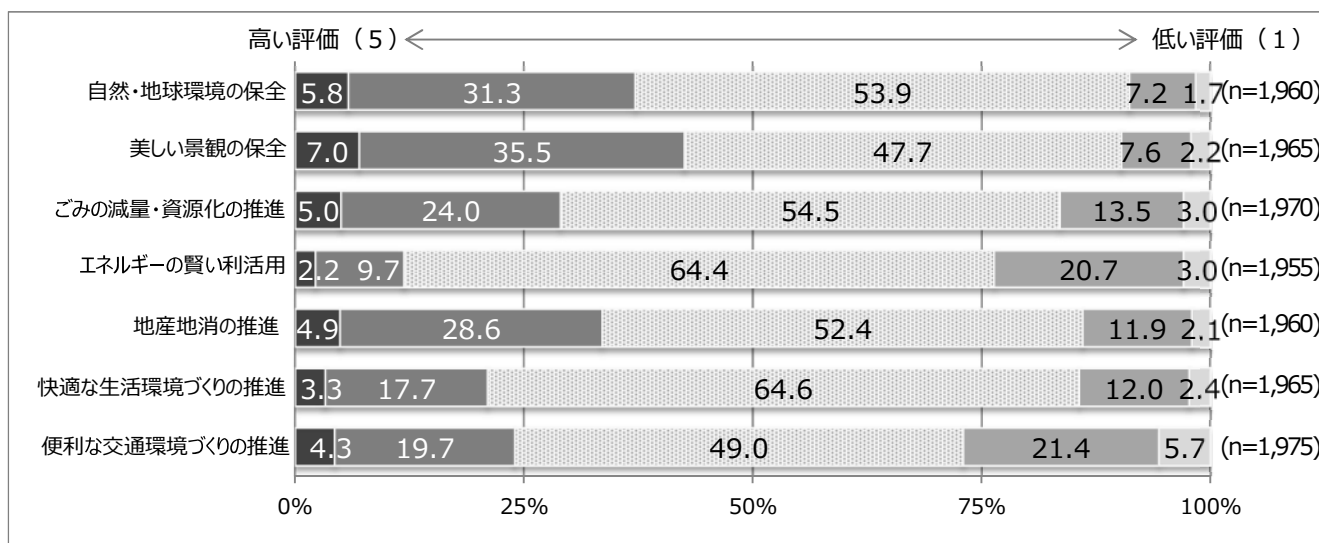
設問 65 「安心して暮らせる都市」づくりを進めるために位置付けられた政策（8項目）のうち優先すべき政策はどれですか。（3つ選択） n=1,874



優先すべき政策のうち、選択された割合が最も高かったものは、「災害への備え」（57.7%）となった。

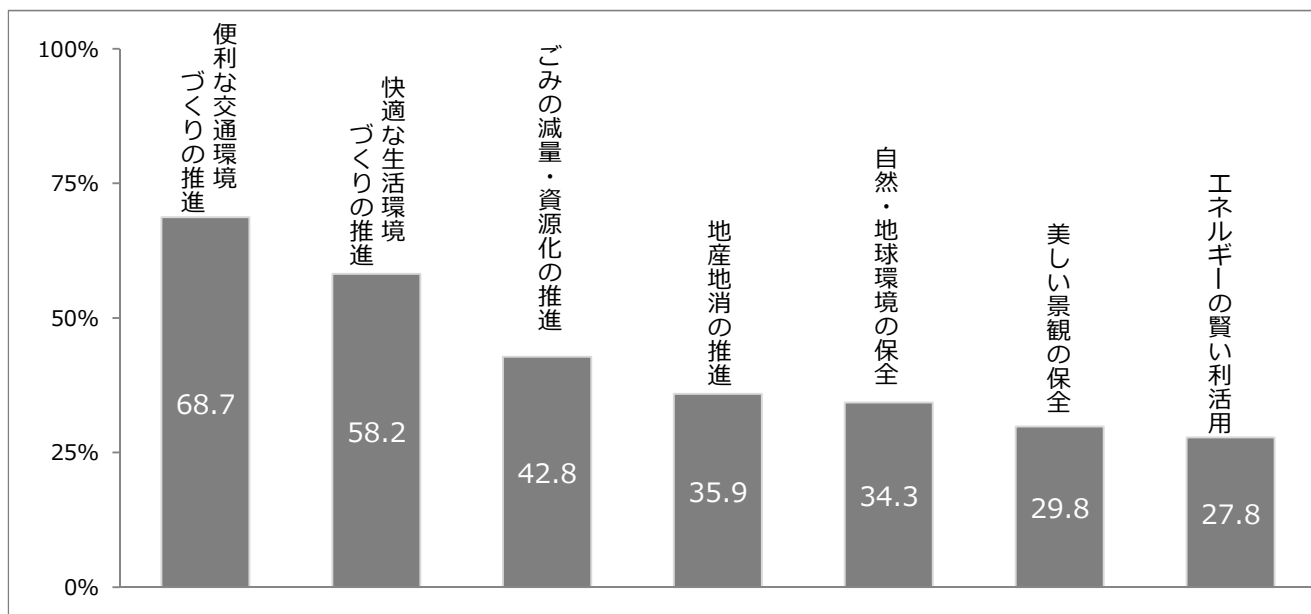
設問 66 「便利で快適な都市」づくりを進めるために位置付けられた以下の政策（7項目）の評価（満足度）をしてください。

■ 5 ■ 4 ■ 3 ■ 2 ■ 1



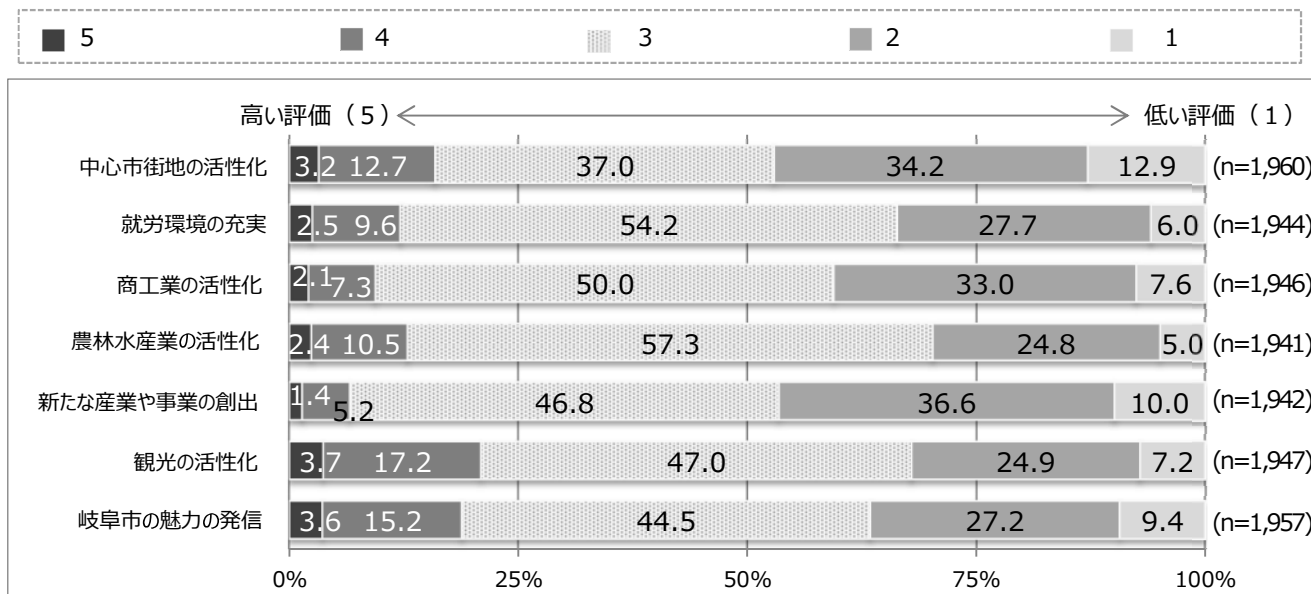
政策の評価（満足度）として、比較的高い評価である「5」、「4」を回答した割合の合計が最も高かった政策は、「美しい景観の保全」（42.5%）となった。一方で、比較的低い評価である「1」、「2」を回答した割合の合計が最も高かった政策は、「便利な交通環境づくりの推進」（27.1%）となった。

設問 67 「便利で快適な都市」づくりを進めるために位置付けられた政策（7項目）のうち優先すべき政策はどれですか。（3つ選択） n=1,889



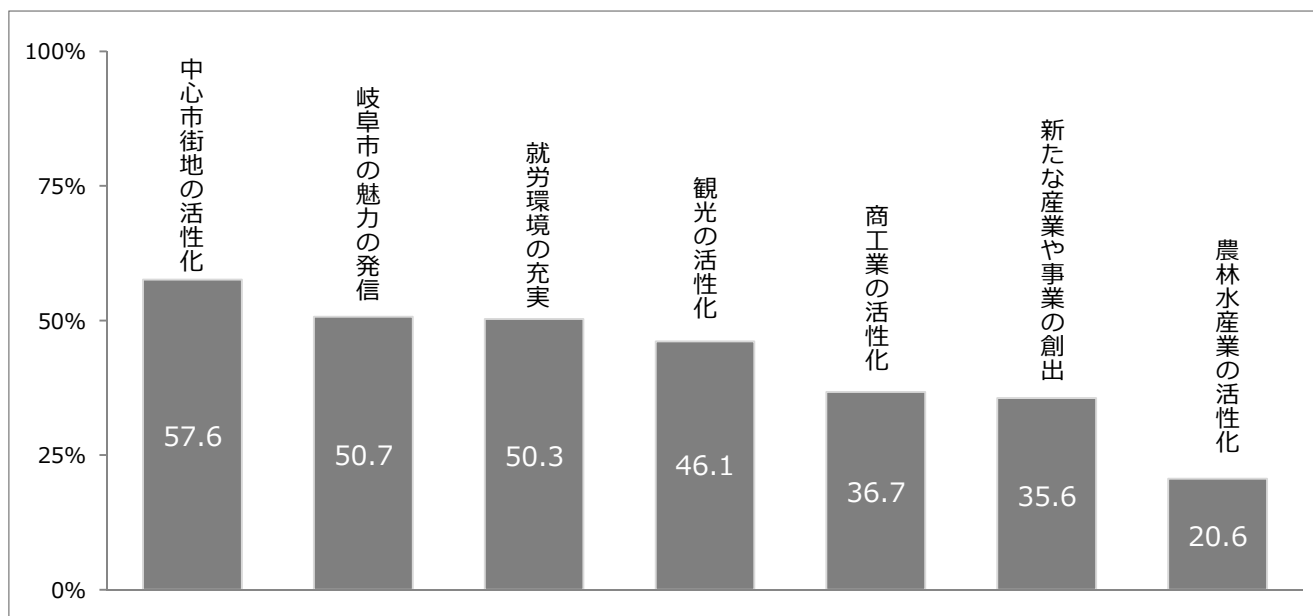
優先すべき政策のうち、選択された割合が最も高かったものは、「便利な交通環境づくりの推進」（68.7%）となった。

設問 68 「活力のある都市」づくりを進めるために位置付けられた以下の政策（7項目）の評価（満足度）をしてください。



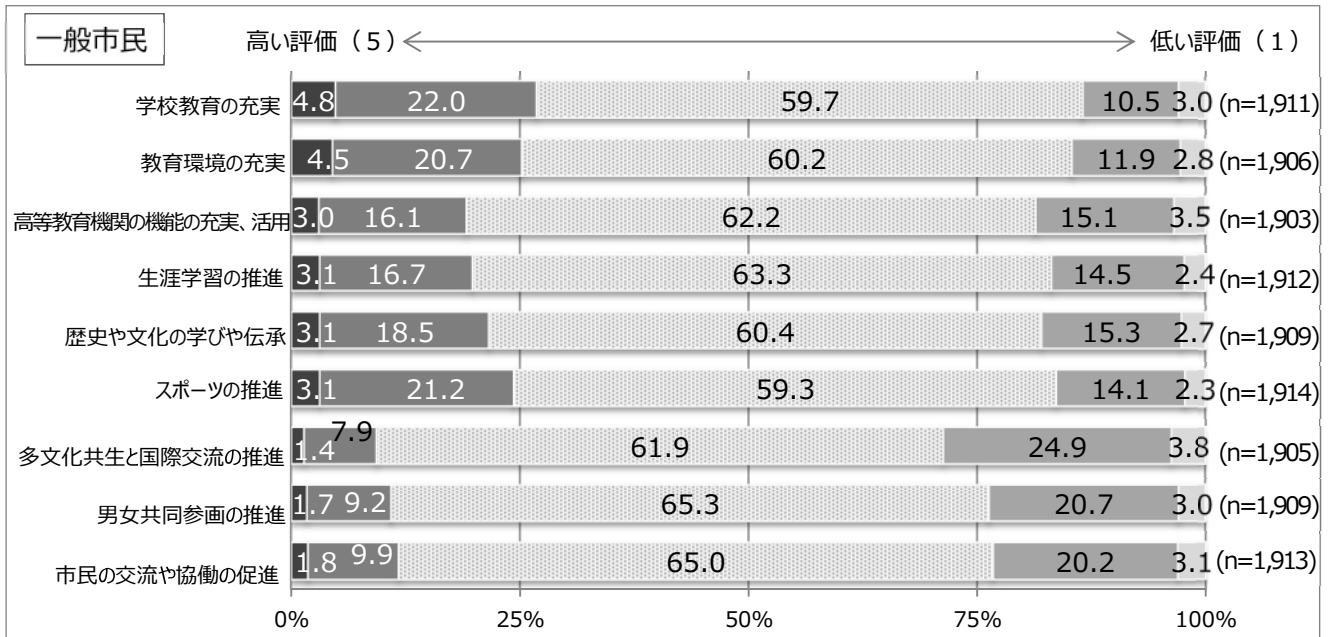
政策の評価(満足度)として、比較的高い評価である「5」、「4」を回答した割合の合計が最も高かった政策は「観光の活性化」(20.9%)となった。一方で、比較的低い評価である「1」、「2」を回答した割合の合計が最も高かった政策は「中心市街地の活性化」(47.1%)となった。

設問 69 「活力のある都市」づくりを進めるために位置付けられた政策（7項目）のうち優先すべき政策はどれですか。（3つ選択） n=1,894



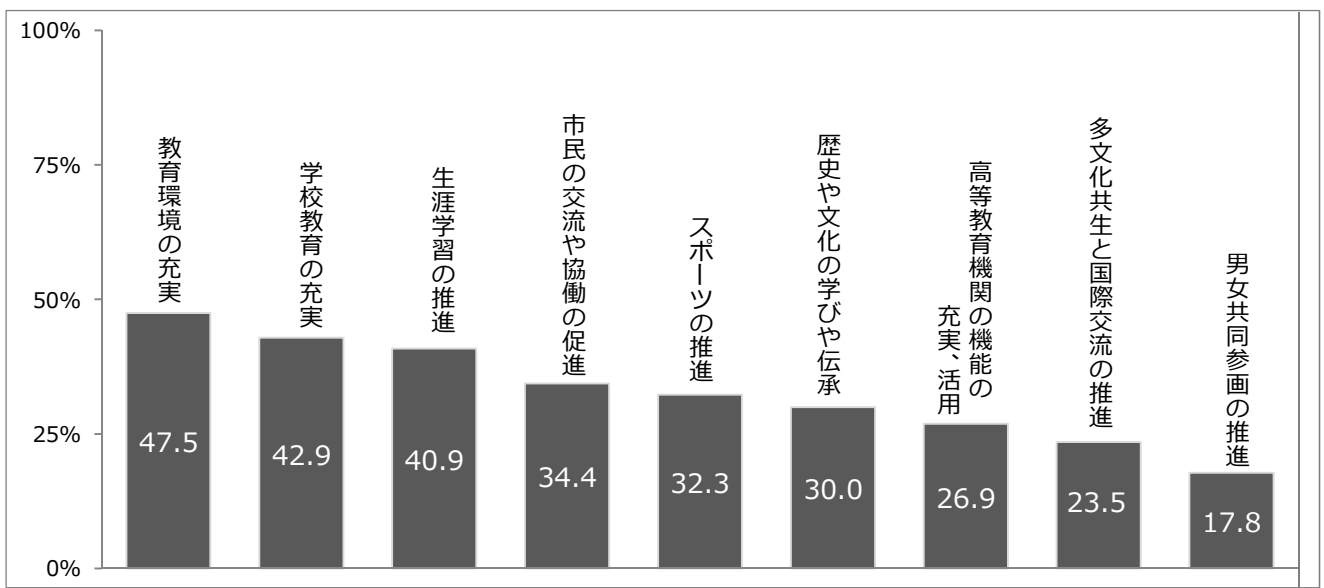
優先すべき政策のうち、選択された割合が最も高かったものは、「中心市街地の活性化」(57.6%)となった。

設問 70 「人生を楽しむ都市」づくりを進めるために位置付けられた以下の政策（9項目）の評価（満足度）をしてください。



政策の評価（満足度）として、比較的高い評価である「5」、「4」を回答した割合の合計が最も高かった政策は、「学校教育の充実」(26.8%)となった。一方で、比較的低い評価である「1」、「2」を回答した割合の合計が最も高かった政策は、「多文化共生と国際交流の推進」(28.7%)となった。

設問 71 「人生を楽しむ都市」づくりを進めるために位置付けられた政策（9項目）のうち優先すべき政策はどれですか。（3つ選択） n=1,835

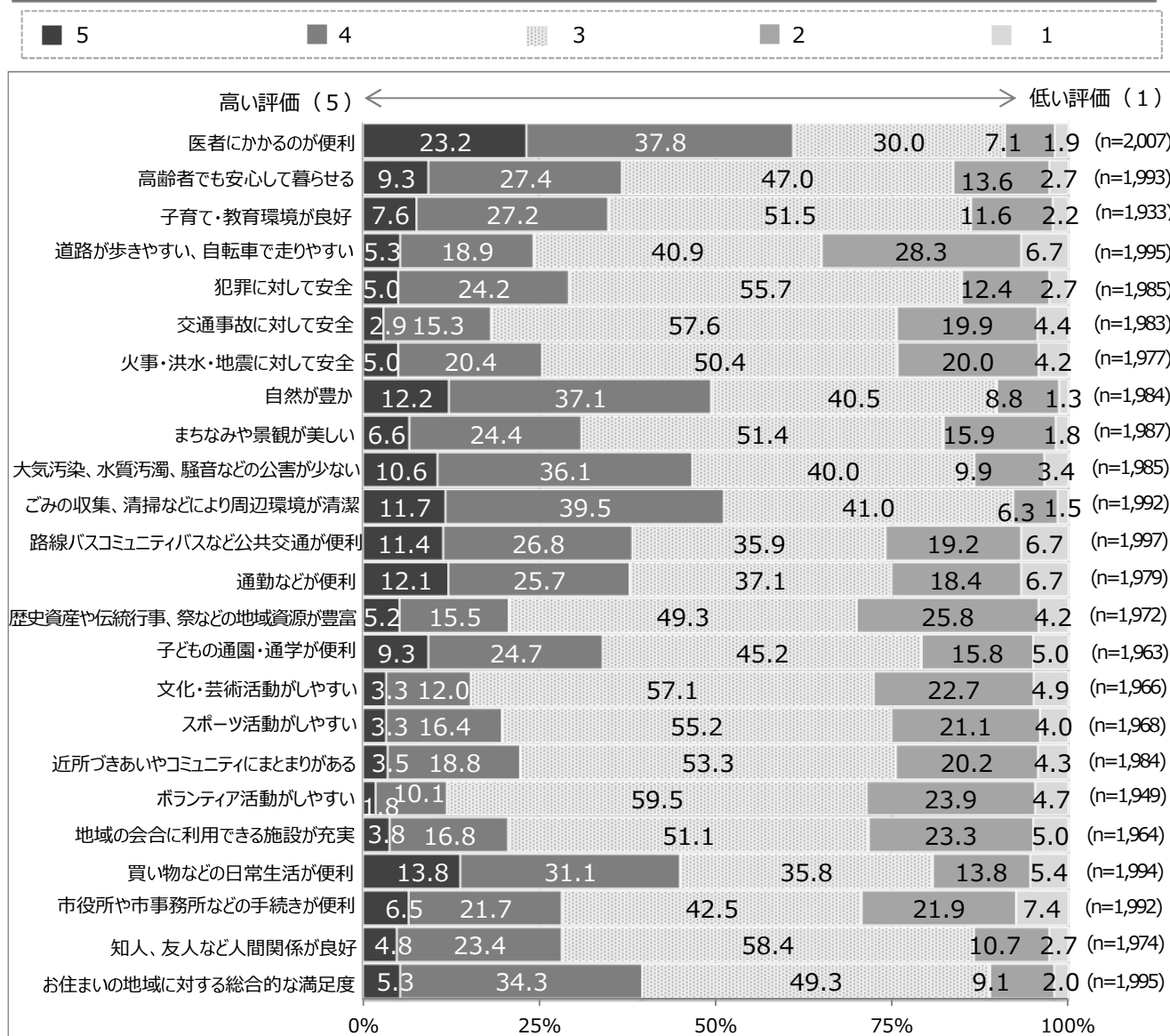


優先すべき政策のうち、選択された割合が最も高かったものは、「教育環境の充実」(47.5%)となった。

4 地域のまちづくりの設問（一般市民）の概要

設問 74 お住まいの地域の各分野（24項目）の評価（満足度）をしてください。

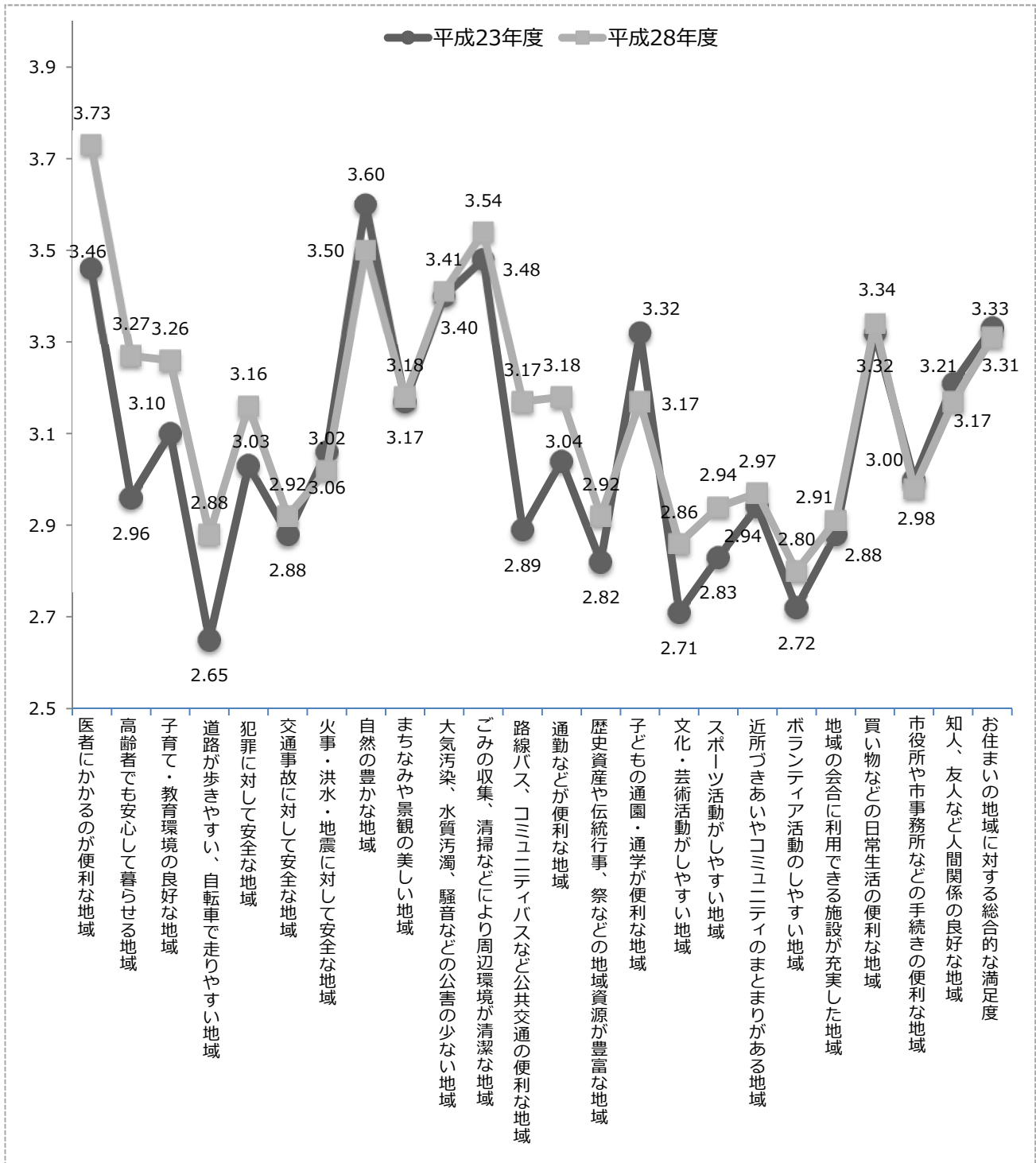
※お住まいの地域：自治会連合会地区または概ね小学校区



住まいの地域の分野別評価（満足度）として、比較的高い評価である「5」、「4」を回答した割合の合計が最も高かった分野は、「医者にかかるのが便利な地域」（61.0%）となり、次いで、「ごみの収集、清掃などにより周辺環境が清潔な地域」（51.2%）、「自然が豊かな地域」（49.3%）が続いた。一方で、比較的低い評価である「1」、「2」を回答した割合の合計が最も高かった分野は、「道路が歩きやすい、自転車で走りやすい地域」（35.0%）となり、次いで、「歴史資産や伝統行事、祭などの地域資源が豊富な地域」（30.0%）、「市役所や市事務所などの手続きが便利な地域」（29.3%）が続いた。

平成 23 年度調査結果との比較

※各選択肢の数値を加重平均し、指数化



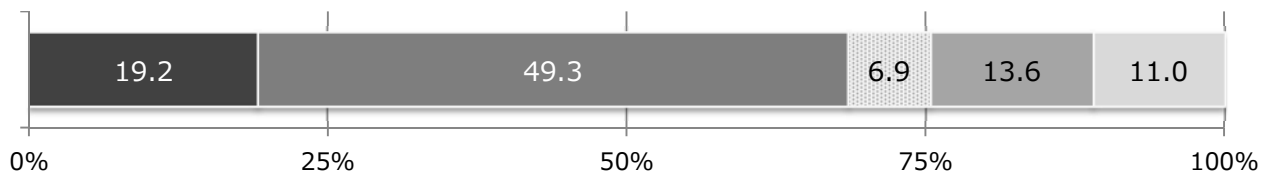
平成 23 年度調査と比較すると、評価(満足度)が最も増加した分野は、「高齢者でも安心して暮らせる地域」(0.31 ポイント増(「H23」2.96→「H28」3.27))となり、次いで、「路線バス、コミュニティバスなど公共交通の便利な地域」(0.28 ポイント増(「H23」2.89→「H28」3.17))が続いた。また、評価(満足度)が最も減少した分野は、「子どもの通園・通学が便利な地域」(0.15 ポイント減(「H23」3.32→「H28」3.17))となり、次いで、「自然の豊かな地域」(0.10 ポイント減(「H23」3.6→「H28」3.5))が続いた。

5 主要な設問の概要

現在の生活に満足していますか。

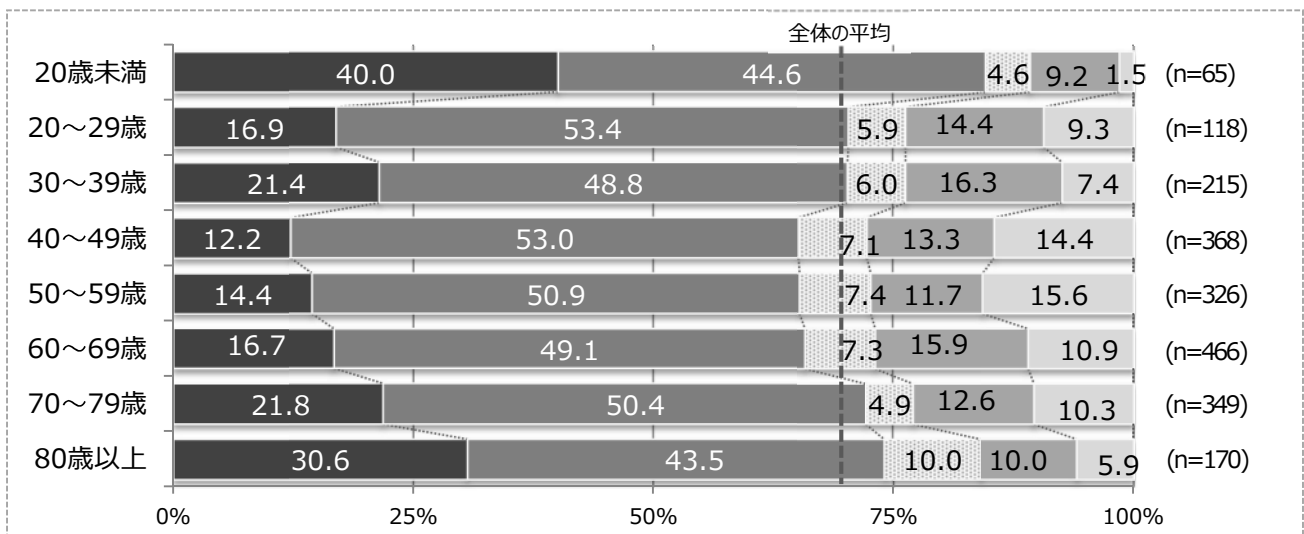
一般市民
Q1
n=2,154

■ 満足している ■ どちらかといえば満足している ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば満足していない ■ 満足していない



生活満足度については、「満足している」(19.2%)、「どちらかといえば満足している」(49.3%)と回答した割合の合計が 68.5%となった。一方で「満足していない」(11.0%)、「どちらかといえば満足していない」(13.6%)と回答した割合の合計は 24.6%となった。

年齢階層別構成とのクロス集計 n=2,077



年齢階層別に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均(68.5%)と比較すると、「20歳未満」(84.6%)が平均を大きく上回り、「80歳以上」(74.1%)、「70~79歳」(72.2%)、「20~29歳」(70.3%)、「30~39歳」(70.2%)でも平均を上回った。一方で「40~49歳」(65.2%)、「50~59歳」(65.3%)、「60~69歳」(65.8%)では平均を下回った。

岐阜市の魅力は何ですか。(複数選択可)

一般市民

Q30

n=2,116

外国人市民

Q2

n=91

転出者

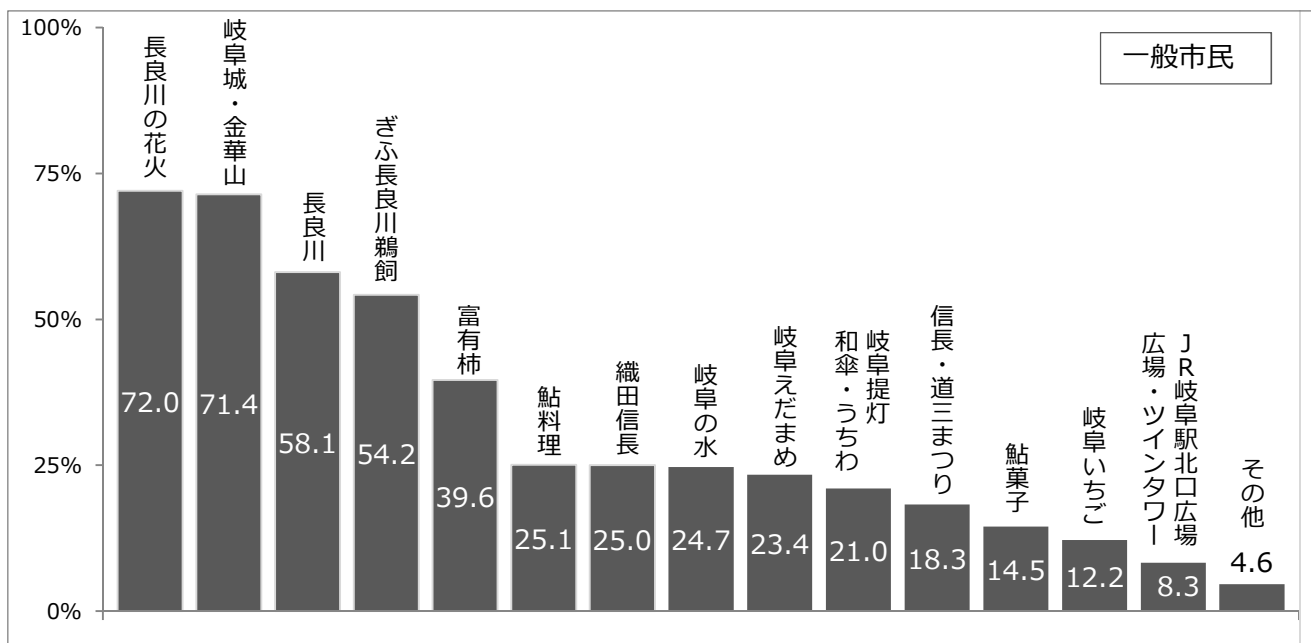
Q3

n=136

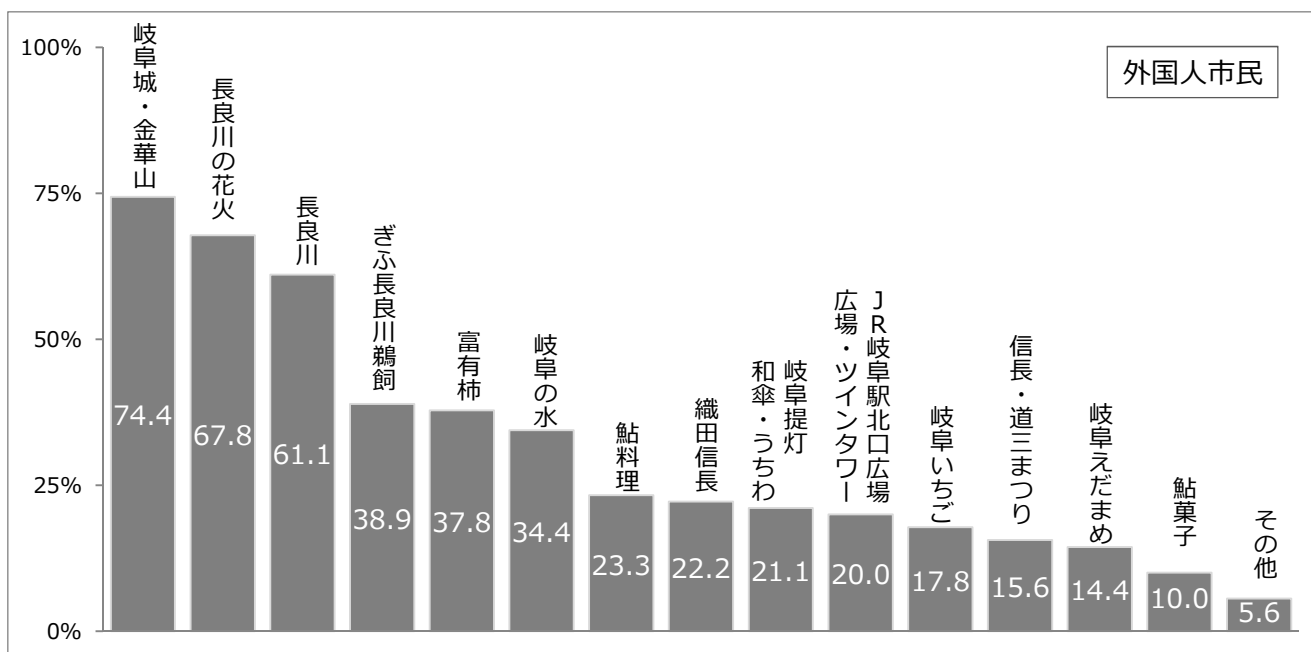
中学生

Q3

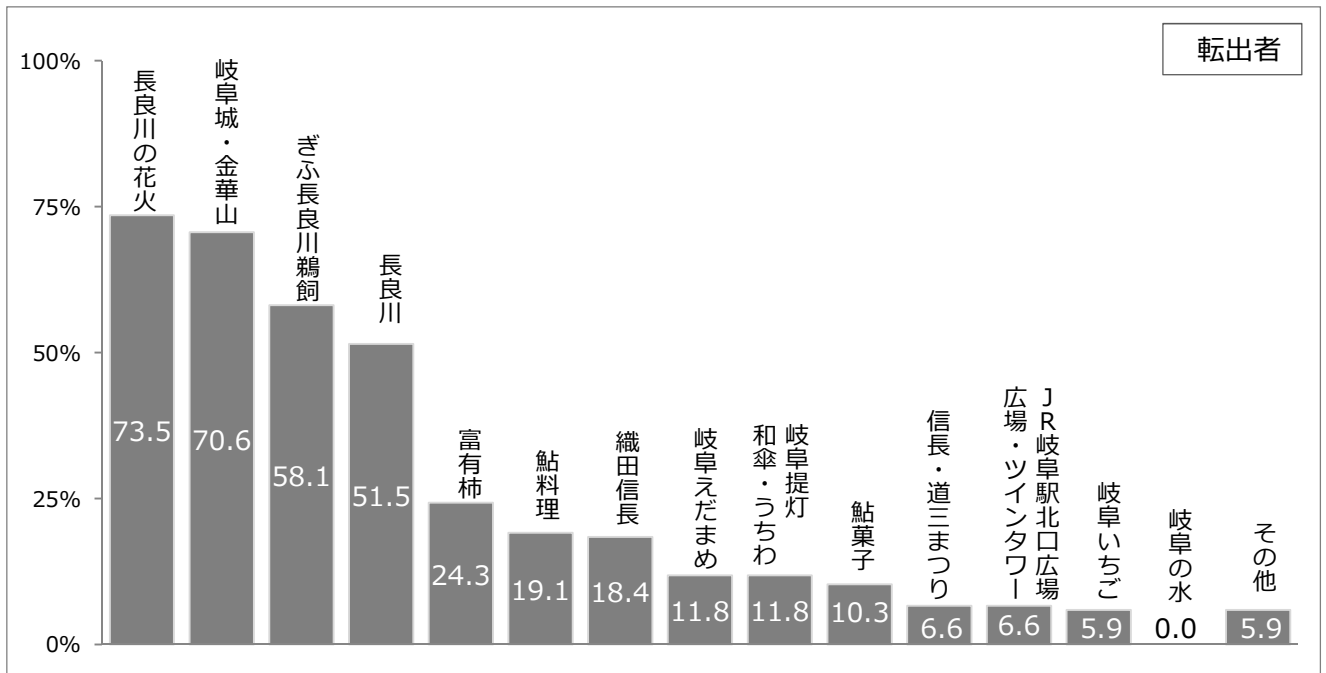
n=130



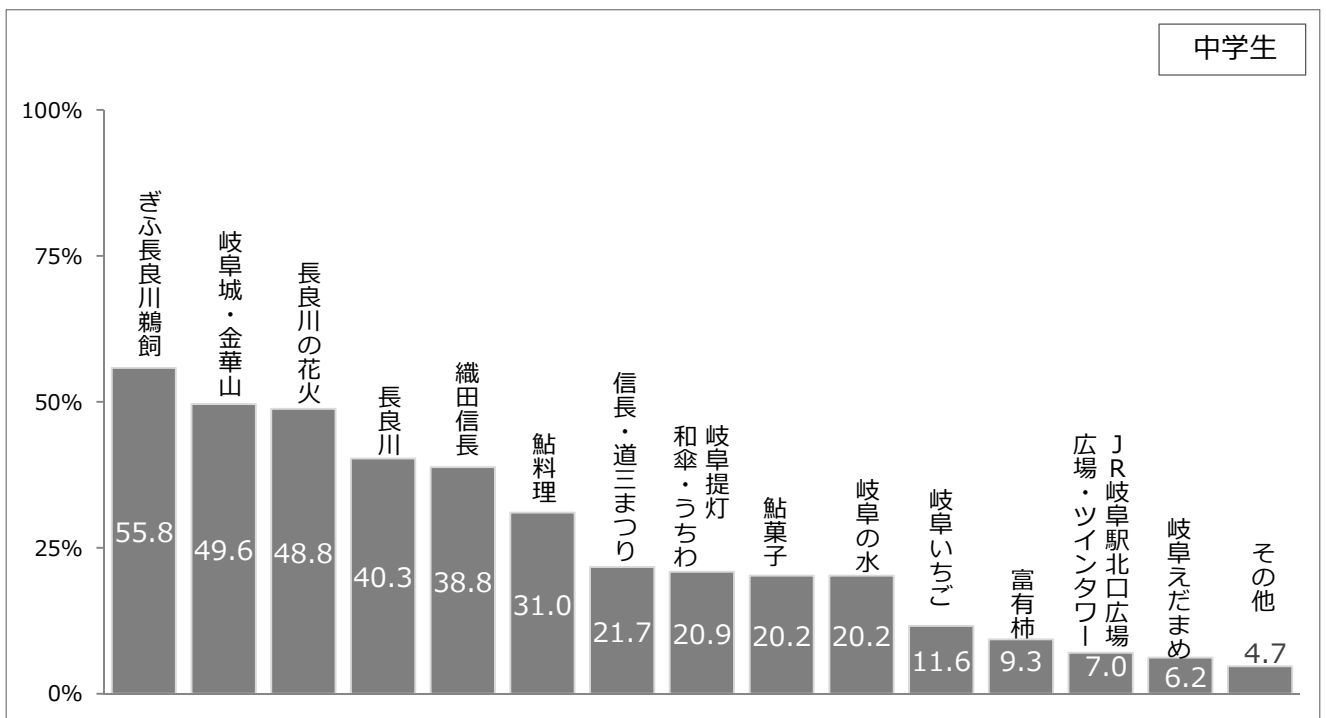
岐阜市の魅力の 14 項目(「その他」を除く)のうち、選択された割合が最も高かったものは「長良川の花火」(72.0%)となり、次いで、「岐阜城・金華山」(71.4%)、「長良川」(58.1%)、「ぎふ長良川鵜飼」(54.2%)、「富有柿」(39.6%)が続いた。



外国人市民をみると、岐阜市の魅力の 14 項目(「その他」を除く)のうち、選択された割合が最も高かったものは「岐阜城・金華山」(74.4%)となり、次いで、「長良川の花火」(67.8%)、「長良川」(61.1%)、「ぎふ長良川鵜飼」(38.9%)、「富有柿」(37.8%)が続いた。



転出者をみると、岐阜市の魅力の 14 項目（「その他」を除く）のうち、選択された割合が最も高かったものは「長良川の花火」（73.5%）となり、次いで、「岐阜城・金華山」（70.6%）、「ぎふ長良川鵜飼」（58.1%）、「長良川」（51.5%）、「富有柿」（24.3%）が続いた。



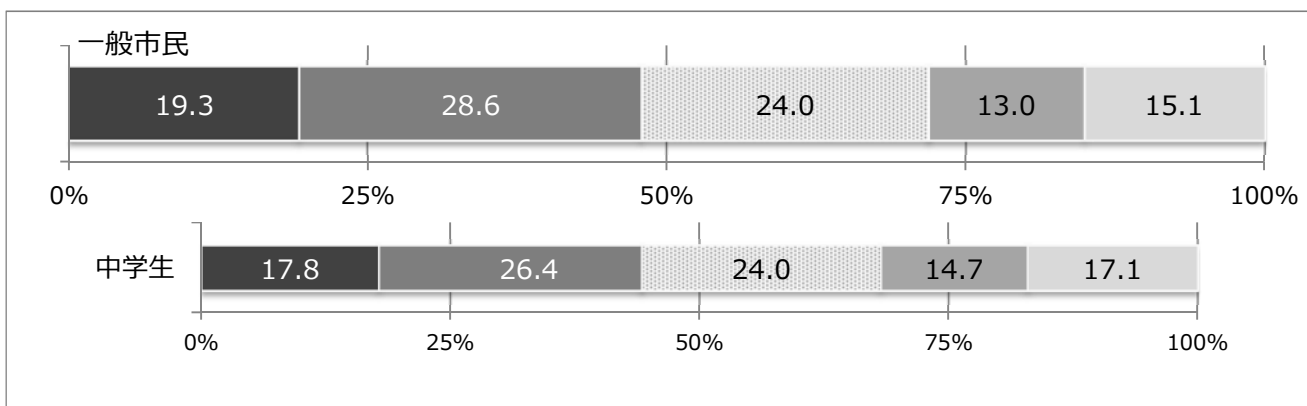
中学生をみると、岐阜市の魅力の 14 項目（「その他」を除く）のうち、選択された割合が最も高かったものは「ぎふ長良川鵜飼」（55.8%）となり、次いで、「岐阜城・金華山」（49.6%）、「長良川の花火」（48.8%）、「長良川」（40.3%）、「織田信長」（38.8%）が続いた。

岐阜市民であることに誇りを感じますか。

一般市民
Q31
n=2,126

中学生
Q2
n=129

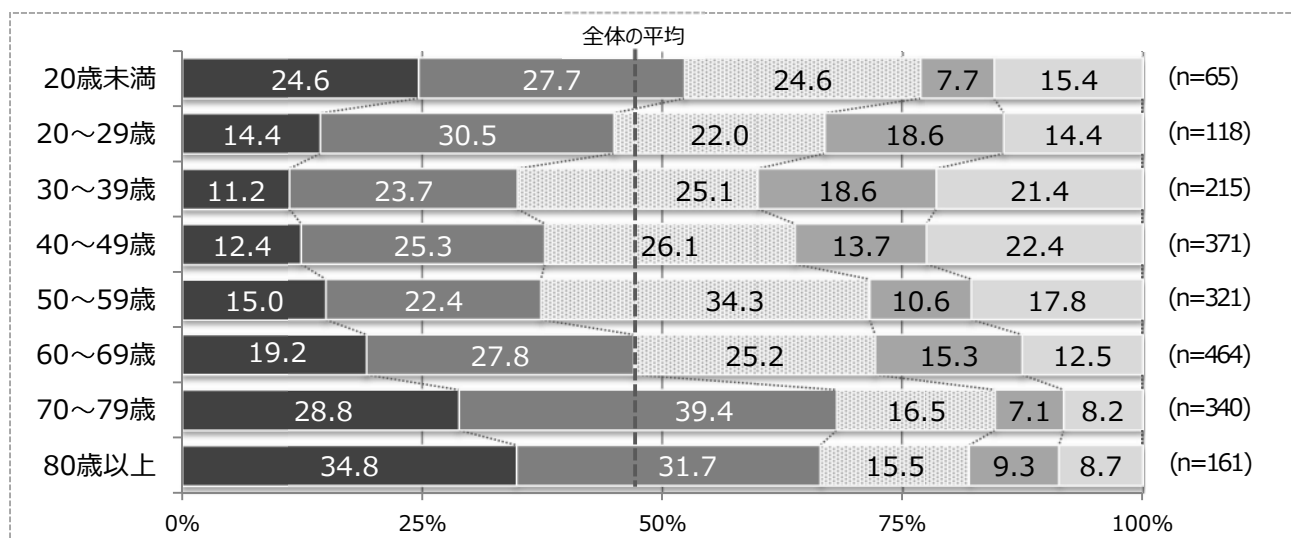
■ 感じる ■ どちらかといえば感じる ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば感じない ■ 感じない



岐阜市民としての誇り(一般市民)については、「感じる」(19.3%)、「どちらかといえば感じる」(28.6%)と回答した割合の合計が 47.9%となった。一方で「感じない」(15.1%)、「どちらかといえば感じない」(13.0%)と回答した割合の合計は 28.1%となった。

また、調査対象別に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を比較すると、「中学生」(44.2%)が「一般市民」(47.9%)を下回った。

年齢階層別構成とのクロス集計 (一般市民) n=2,055

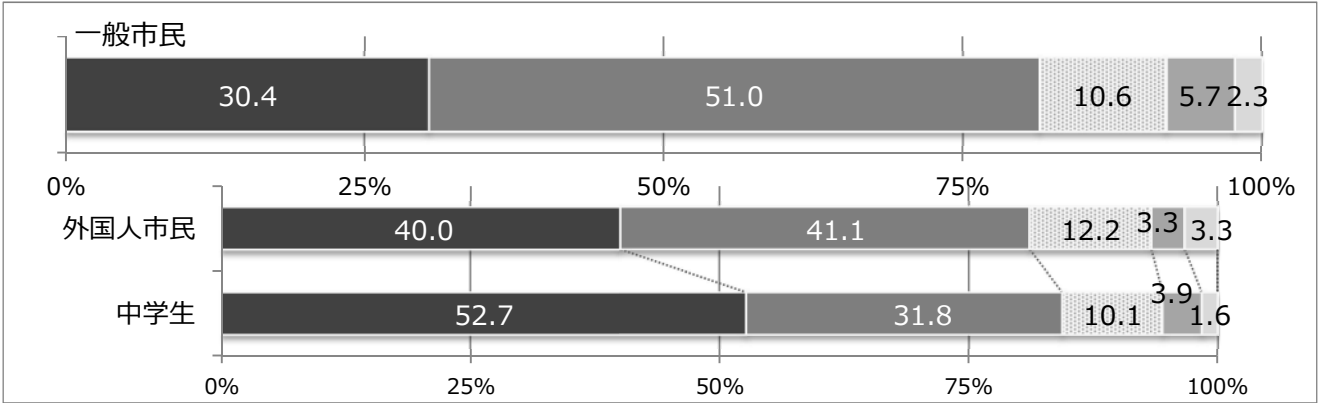


年齢階層別に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(47.9%)と比較すると、「70～79歳」(68.2%)、「80歳以上」(66.5%)が平均を大きく上回り、「20歳未満」(52.3%)でも平均を上回った。一方で「30～39歳」(34.9%)、「50～59歳」(37.4%)、「40～49歳」(37.7%)では平均を大きく下回り、「20～29歳」(44.9%)、「60～69歳」(47.0%)でも平均を下回る、または近似した値となった。

現在、あなたは幸せだと感じますか。

一般市民 Q32 n=2,132	外国人市民 Q5 n=90	中学生 Q6 n=129
------------------------	---------------------	--------------------

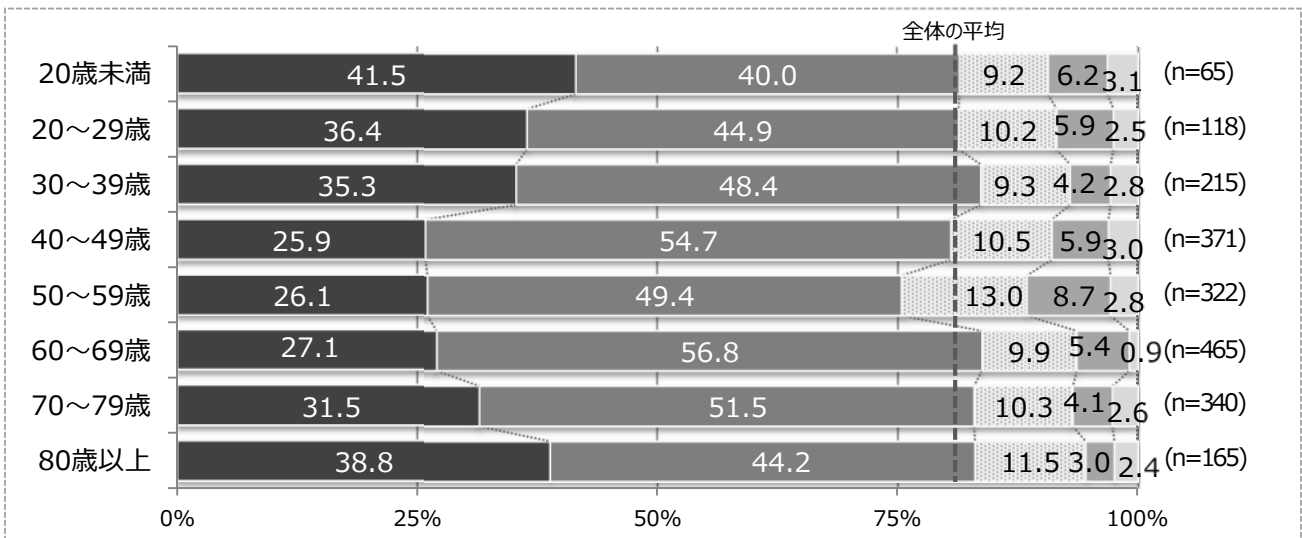
■ 幸せだと感じる ■ どちらかといえば幸せだと感じる ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば幸せでないと感じる ■ 不幸せだと感じる



幸福感(一般市民)については、「幸せだと感じる」(30.4%)、「どちらかといえば幸せだと感じる」(51.0%)と回答した割合の合計が 81.4%となった。一方で「不幸せだと感じる」(2.3%)、「どちらかといえば幸せでないと感じる」(5.7%)と回答した割合の合計は 8.0%となった。

また、調査対象別に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を比較すると、「中学生」(84.5%)が「一般市民」(81.4%)を上回った。一方で「外国人市民」(81.1%)では「一般市民」(81.4%)と近似した値となった。

年齢階層別構成とのクロス集計 (一般市民) n=2,061



年齢階層別に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(81.4%)と比較すると、「60～69歳」(83.9%)、「30～39歳」(83.7%)、「80歳以上」(83.0%)、「70～79歳」(83.0%)、「20歳未満」(81.5%)が平均を上回る、または近似した値となった。一方で「50～59歳」(75.5%)、「40～49歳」(80.6%)、「20～29歳」(81.3%)では平均を下回る、または近似した値となった。

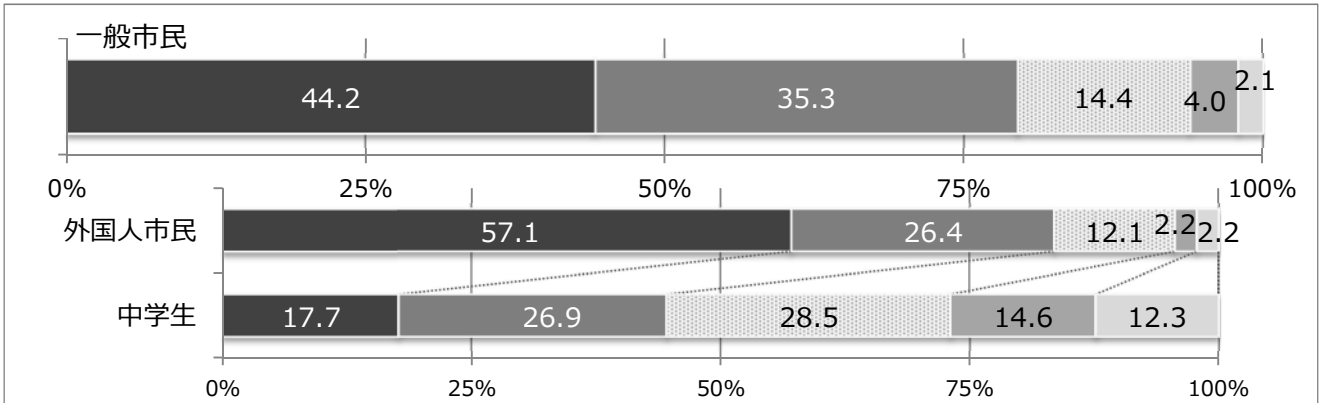
このまちに住み続けたいと思いますか。

一般市民
Q63
n=2,126

外国人市民
Q3
n=91

中学生
Q5
n=130

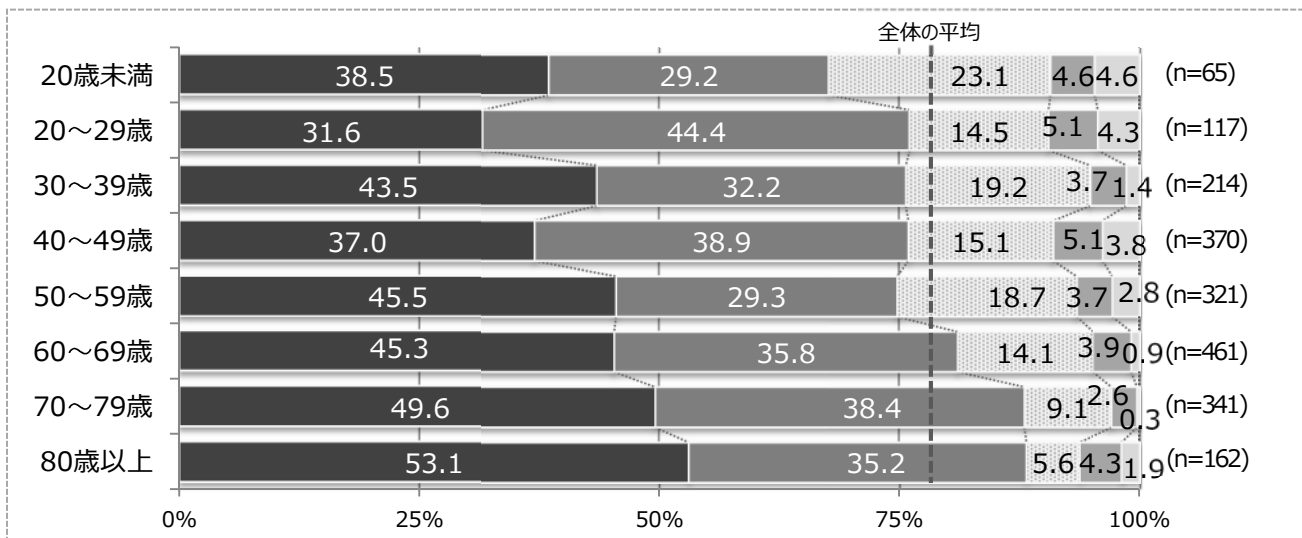
■ 住み続けたい ■ どちらかといえば住み続けたい ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば住み続けたくない ■ 住み続けたくない



岐阜市民としての誇り(一般市民)については、「住み続けたい」(44.2%)、「どちらかといえば住み続けたい」(35.3%)と回答した割合の合計が 79.5%となった。一方で「住み続けたくない」(2.1%)、「どちらかといえば住み続けたくない」(4.0%)と回答した割合の合計は 6.1%となった。

また、調査対象別に、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計を比較すると、「外国人市民」(83.5%)が「一般市民」(79.5%)を上回った。一方で「中学生」(44.6%)では「一般市民」(79.5%)を大きく下回った。

年齢階層別構成とのクロス集計 (一般市民) n=2,051

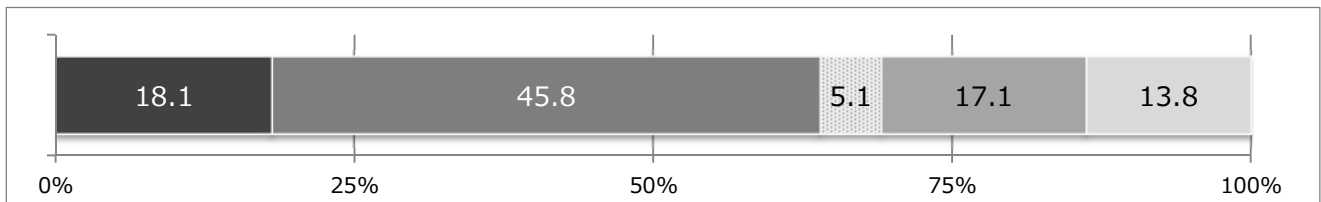


年齢階層別に、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計を全体の平均(79.5%)と比較すると、「70～79歳」(88.0%)、「80歳以上」(88.3%)、「60～69歳」(81.1%)が平均を上回った。一方で「20歳未満」(67.7%)では平均を大きく下回り、「50～59歳」(74.8%)、「30～39歳」(75.7%)、「40～49歳」(75.9%)、「20～29歳」(76.0%)でも平均を下回った。

6 意識や行動の設問（一般市民）の概要

設問 2 現在の健康状態に満足していますか。 n=2,159

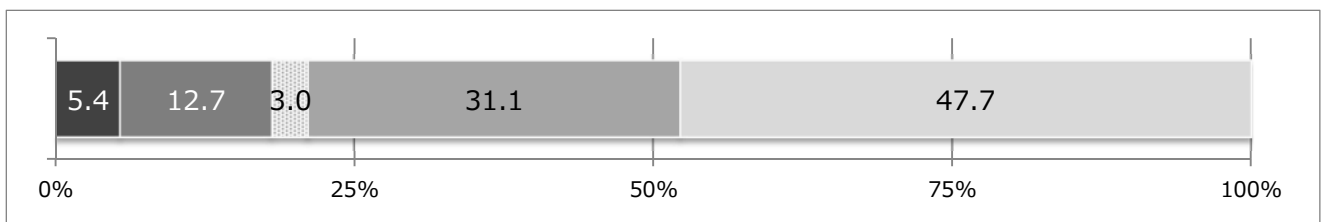
■ 満足している ■ どちらかといえば満足している ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば満足していない ■ 満足していない



健康状態の満足度については、「満足している」(18.1%)、「どちらかといえば満足している」(45.8%)と回答した割合の合計が 63.9%となった。一方で「満足していない」(13.8%)、「どちらかといえば満足していない」(17.1%)と回答した割合の合計は 30.9%となった。

設問 4 老後など、将来に不安はないですか。 n=2,153

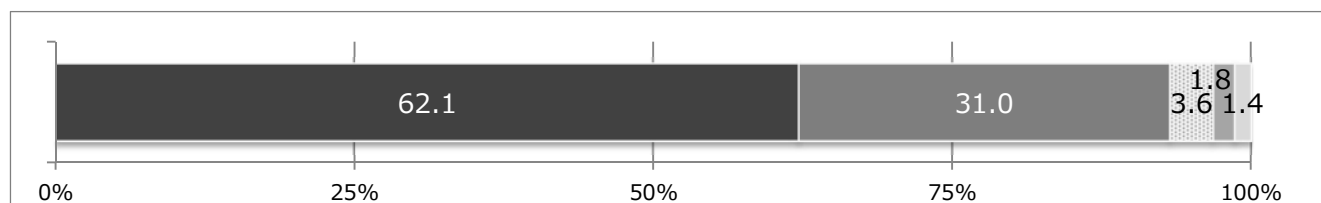
■ 不安はない ■ どちらかといえば不安はない ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば不安はある ■ 不安はある



将来への不安については、「不安はない」(5.4%)、「どちらかといえば不安はない」(12.7%)と回答した割合の合計が 18.1%となった。一方で「不安はある」(47.7%)、「どちらかといえば不安はある」(31.1%)と回答した割合の合計は 78.8%となった。

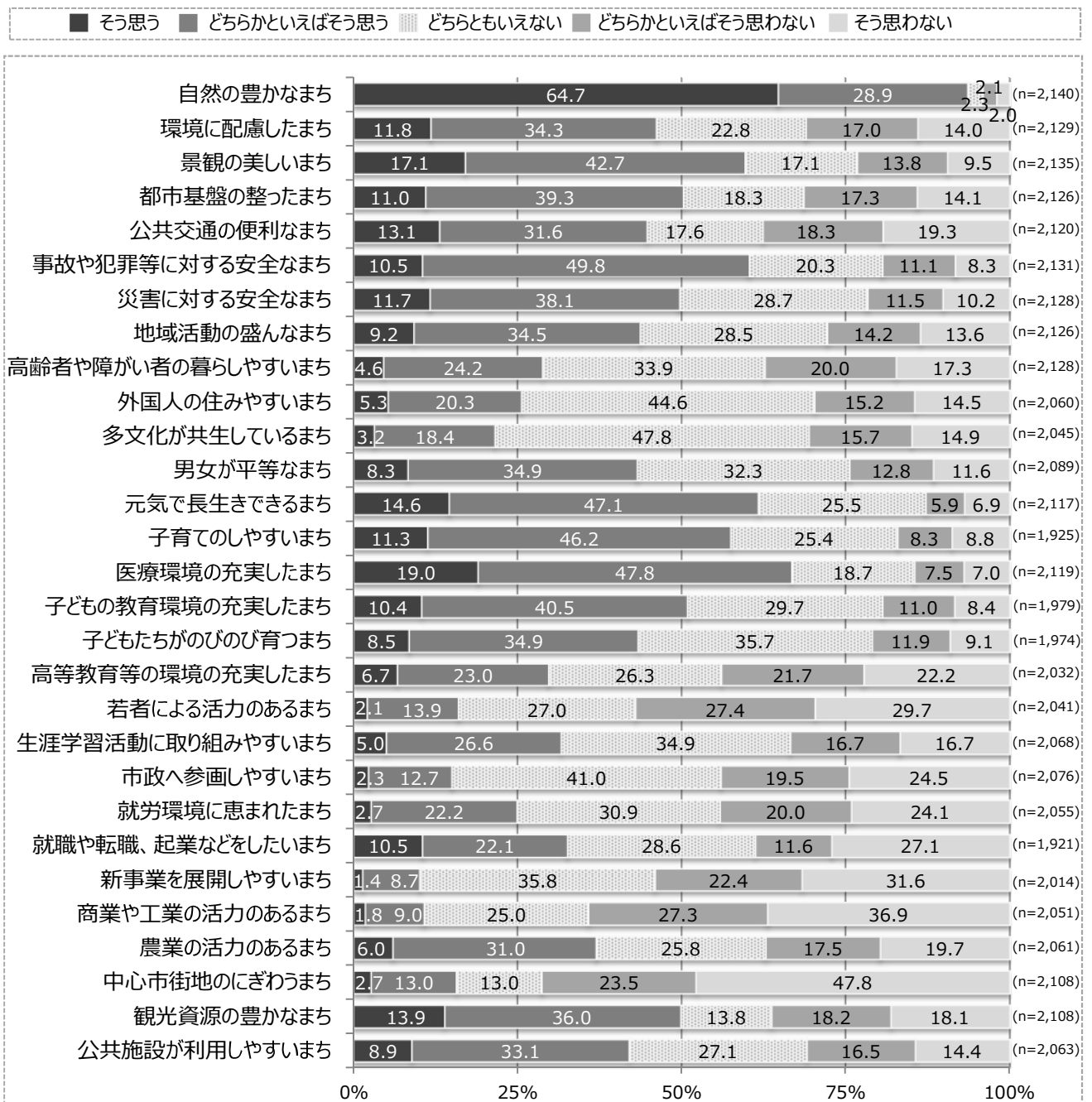
設問 26 食事をおいしく食べていますか。 n=2,145

■ おいしく食べている ■ どちらかといえばおいしく食べている ■ どちらともいえない
■ どちらかといえばおいしく食べていない ■ おいしく食べていない



食事については、「おいしく食べている」(62.1%)、「どちらかといえばおいしく食べている」(31.0%)と回答した割合の合計が 93.1%となった。一方で「おいしく食べていない」(1.4%)、「どちらかといえばおいしく食べていない」(1.8%)と回答した割合の合計は 3.2%となった。

7 岐阜市のイメージの設問（一般市民）の概要



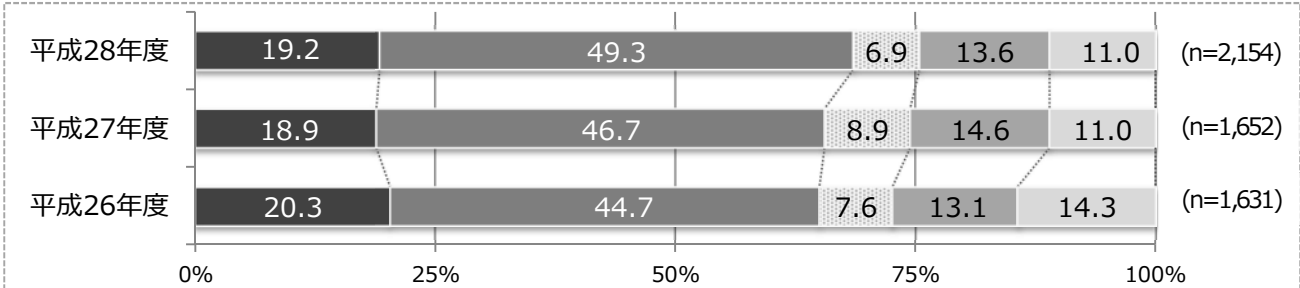
岐阜市のイメージ全体について、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した割合の合計で比較すると、「自然の豊かなまち」(93.6%)が最も高く、次いで「医療環境の充実したまち」(66.8%)、「元気で長生きできるまち」(61.7%)、「事故や犯罪等に対する安全なまち」(60.3%)、「子育てのしやすいまち」(57.5%)となった。

一方で「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」と回答した割合の合計で比較すると、「中心市街地のにぎわうまち」(71.3%)が最も高く、次いで「商業や工業の活力のあるまち」(64.2%)、「新事業を展開しやすいまち」(54.0%)、「若者による活力のあるまち」(57.1%)、「就労環境に恵まれたまち」(44.1%)となった。

8 平成 26・27 年度調査結果との比較（一般市民）

設問 1 現在の生活に満足していますか。

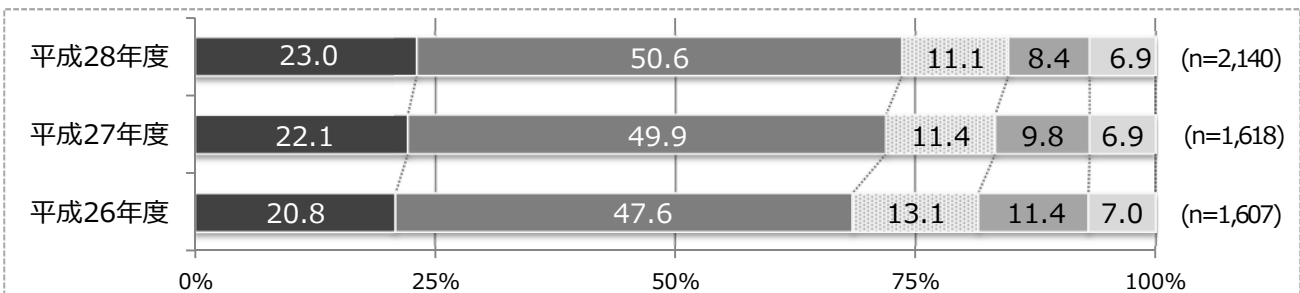
■ 満足している ■ どちらかといえば満足している ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば満足していない ■ 満足していない



過去の調査結果と比較すると、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計(68.5%)は、平成 26 年度(65.0%)から増加する傾向がみられた。

設問 24 お住まいの周辺の環境は美しく保たれていると感じますか。

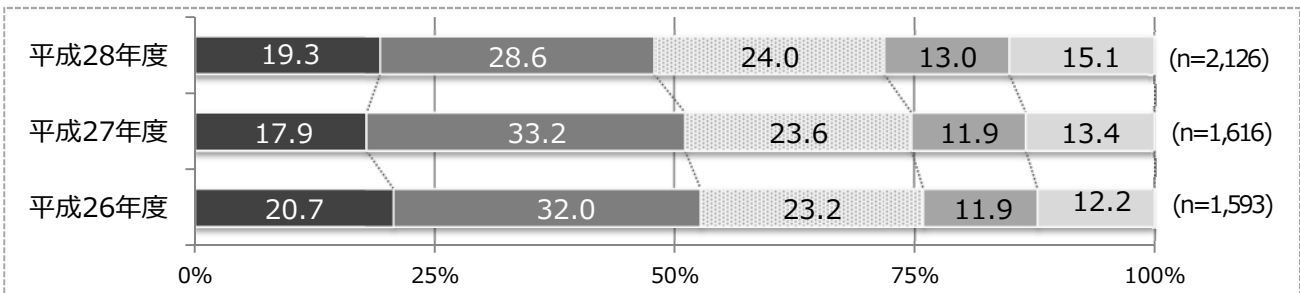
■ 感じる ■ どちらかといえば感じる ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば感じない ■ 感じない



過去の調査結果と比較すると、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計(73.6%)は、平成 26 年度(68.4%)から増加する傾向がみられた。

設問 31 岐阜市民であることに誇りを感じますか。

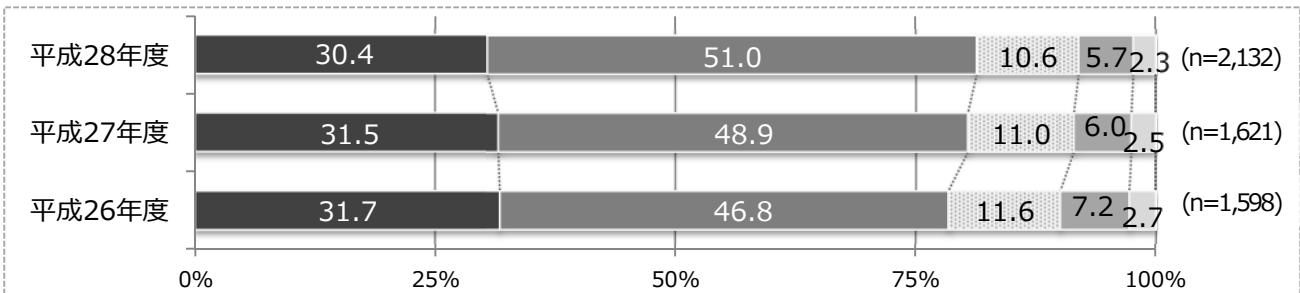
■ 感じる ■ どちらかといえば感じる ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば感じない ■ 感じない



過去の調査結果と比較すると、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計(47.9%)は、平成 26 年度(52.7%)から減少する傾向がみられた。

設問 32 現在、あなたは幸せだと感じますか。

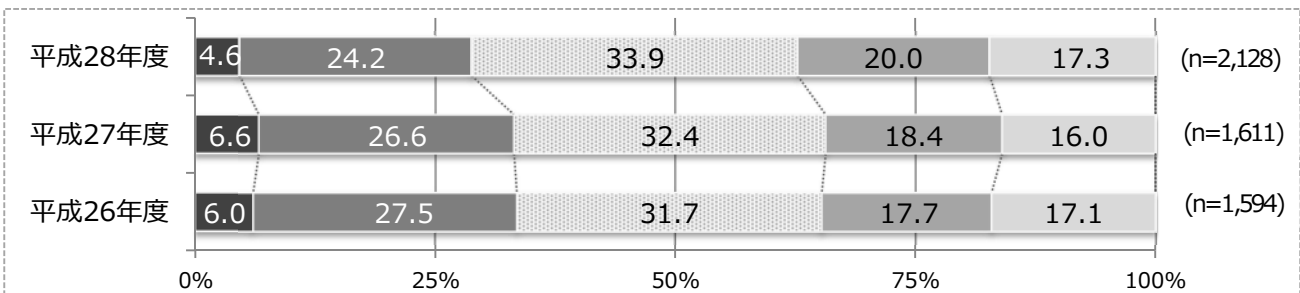
■ 幸せだと感じる ■ どちらかといえば幸せだと感じる ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば幸せでないと感じる ■ 不幸せだと感じる



過去の調査結果と比較すると、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計(81.4%)は、平成26年度(78.5%)から増加する傾向がみられた。

設問 41 高齢者や障がいのある方にとって暮らしやすいまちだと思いますか。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



過去の調査結果と比較すると、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した割合の合計(28.8%)は、平成26年度(33.5%)から減少する傾向がみられた。

9 調査に関わる岐阜市総合計画 基本計画 2013 の政策における指標の状況

岐阜市総合計画 基本計画 2013 では、政策の基本方針として 31 の政策を位置づけ、それぞれに対して行政施策の評価となる成果指標を設定しており、毎年度、その指標の状況を把握することとしている。

基本計画 2013 の成果指標の全 79 項目のうち、11 項目はこの市民意識調査の項目であり、その結果は以下のとおりである。

政策の基本方針の 政策番号と内容	成果指標	H28 年度 調査の 実績値	計画 2013 策定時数値 (直近値)
政策 5 地域住民が支え合う環境づくりを 推進します	相談相手がいる人の割合	男:76.5% 女:89.3%	男:78.2% 女:92.9% (H21 健康基礎調査)
政策 6 人にやさしいまちづくりを 推進します	人権問題に関心を持って いる人の割合	57.8%	85.7% (H21 人権に関する 意識調査※)
政策 10 美しい景観を保全します	まちなみの美しさを実感 している人の割合	59.7%	— 参考:58.2% (H25 市民意識調査)
政策 10 美しい景観を保全します	周辺環境の美しさを実感 している人の割合	73.6%	— 参考:71.7% (H25 市民意識調査)
政策 13 地産地消を推進します	食事をおいしく食べて いる人の割合	93.1%	90.8% (H21 健康基礎調査)
政策 14 快適な生活環境づくりを推進します	岐阜市に住み続けたい 人の割合	79.5%	79.4% (H23 市民意識調査)
政策 15 便利な交通環境づくりを推進します	コミュニティバスなど 公共交通の便利さを実 感している人の割合	44.7%	29.6% (H23 市民意識調査)
政策 22 岐阜市の魅力を発信します	市民としての誇りを持って いる人の割合	47.9%	48.1% (H23 市民意識調査)
政策 26 生涯学習を推進します	生涯学習に取り組んで いる人の割合	37.3%	57.5% (H18 生涯学習を進め るためのアンケート※)
政策 28 スポーツを推進します	週に 1、2 回運動している 人の割合	42.4%	34.2% (H21 健康基礎調査)
政策 29 多文化共生と国際交流を 推進します	岐阜市に住み続けたい 外国人市民の割合	83.5%	90.4%

※ H21「人権に関する意識調査」及び H18「生涯学習を進めるためのアンケート」における数値結果は、本調査と、質問方法が同一ではない

10 調査に関わる岐阜市まち・ひと・しごと創生総合戦略におけるK P I の状況

岐阜市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、施策の基本的な方向に位置付ける個別の施策ごとに、重要業績評価指標（KPI）を設定している。この KPI は、毎年度行う市民意識調査結果などによる主観指標と、成果として捉えることができる客観指標の二つを設定し、それぞれに目標を定めて施策の有効性について把握することとしている。

まち・ひと・しごと創生総合戦略の KPI の全 34 項目のうち、14 項目はこの市民意識調査の項目であり、その結果は以下のとおりである。

個別施策名	K P I (〇〇と思う人の割合)	H28 年度 調査の 実績値	総合戦略 基準値 (H26 年度)
・結婚から出産までの支援の充実 ・子育て支援の充実	子育てしやすいまち	57.5%	55.4%
・教育環境の充実	教育環境の充実したまち	50.9%	50.7%
・健康寿命の延伸と医療環境の充実	元気で長生きできるまち	61.7%	57.5% (H27)
・新たな産業や事業の創出と継承	本市で就職、転職、 起業したい	32.6%	33.3%
・企業誘致等の促進 ・若年者人材の雇用・定着促進	就労環境に恵まれたまち	24.9%	24.3%
・農業の成長産業化の推進	農業など産業の活力の あるまち	37.0%	36.8%
・外国人誘客のための観光地域づくり ・地域資源を活用した観光振興	観光資源の豊かなまち	49.9%	48.4%
・岐阜市ブランド活用による地域活性化	市の魅力は何かの設問 で選択された項目数	4.64 個	4.16 個
・中心市街地の活性化	中心市街地のにぎわいが 高まった	15.7%	12.8%
・シティプロモーション等、情報発信力の強化	このまちに住みたい	79.5%	77.1%
・コンパクト&ネットワークの都市づくり	公共交通の便利なまち	44.7%	45.7%
・地域防災力の強化	災害に対して安全なまち	49.8%	54.3%
・既存ストックのマネジメント及び活用	公共施設が利用しやすい	42.0%	40.9%
・連携中枢都市圏構想検討及び 広域連携の推進	近隣市町と教育等で 協力すべき	88.0%	88.8%

平成 28 年度 市民意識調査結果報告書の概要並びに
調査に関する総合計画基本計画 2013 及び
まち・ひと・しごと創生総合戦略における指標の進捗

平成 29(2017)年 2 月

【岐阜市】

企画部 総合政策課 総合計画担当
〒500-8701 岐阜市今沢町 18 番地
TEL:058-214-2019
FAX:058-264-1719
E-mail:seisaku@city.gifu.gifu.jp